

事業評価シート

事務事業名	中学生海外研修事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	海外との交流促進	班名	生涯学習班
		事業コード	5431

事業の目的	中学生が訪問国の文化に触れ理解することで、国際的な視野を育む。			
事業の内容	中学生海外研修			
事業の対象	町内中学生			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)	2,552	3,812	3,500
	うち一般財源等 (千円)	2,552	3,812	3,500
	人件費 (千円)			
総コスト +		2,552	3,812	3,500

事業実績・成果 (指標)	名 称	単位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	海外研修	人	8	17	15

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
総合評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	海外でのホームステイを通じて、多くの生徒が自分の視野が広がったと感想を述べている。平成19年度はこれまでの8月から変更して1月の実施とし、参加対象も中学1・2年生としたが、前年度を大きく上回る参加が得られた。			
事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。	